湖頭

令　和　３　年　５　月　７　日
富　士　市　立　須　津　小　学　校
学　校　だ　よ　り　（５月号）

子どもの思いを大切に

校長　望月　秀一

五月晴れの日々が続き、目に優しい青葉の季節になりました。朝、正門で挨拶をしていると元気な挨拶が返ってきて、清々しい気持ちで一日が始まります。保護者の皆様には、新型コロナ感染防止に向けての取組に、ご理解とご協力いただき感謝申し上げます。毎朝の検温、体調管理等引き続きよろしくお願いいたします。

４月を振り返ってみますと様々な活動を通して子どもたちが笑顔で関わったり、挑戦したりする姿が見られました。１年生は交通教室がありました。富士警察署と須津地区の交通指導員さんや、１年生のボランティアの保護者の皆さんにもご協力いただいて行いました。子どもたちは、普段登校している道ですが、一つ一つ危険があることを教えていただき、緊張した顔つきで取り組んでいました。「横断歩道を渡る時ドキドキしたよ。」「これから車に気を付けて歩きたい。」など交通安全に対する意識が高まったようです。今後、交通事故にあわないよう、指導していきますが、地域の方が見ていて気になる時には声を掛けていただけると助かります。交通教室にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

６年生と１年生の、ペア学年同士の交流がありました。どうしたら１年生が早く学校生活に慣れるかを６年生は考え、楽しい時間を作りました。始めはペア同士でお互いに緊張した感じでしたが、６年生が気遣いながら１年生に優しく声を掛けることで表情が柔らかくなり、見ている私も温かな気持ちになりました。照れながらも、とても嬉しそうな顔が印象に残っています。子ども同士のふれあいを通して、今の１年生が６年生になったら、同じように優しく１年生に関わっていくのだと、その積み重ねの中で教育活動が営まれるのだと改めて感じました。相手の立場に立って思いやる優しさを持ち続けてほしいと願っています。

５年生男女数人が、朝、下駄箱の開く前に側溝にたまったごみを片付けていました。どの子もやる気に満ち溢れていて、「ありがとう。」と声を掛けました。誰かに言われたのではなく、自分たちで考えて行動したようです。自分たちで気付いたことを実行に移せることは、とてもすばらしいことです。**学校教育目標「たくましく　挑戦する子」**は、新しいことや苦手なことへの挑戦だけでなく、日頃の地道な活動を続けることも目指す姿の一つです。この気持ちを大切にしながら、温かな目で見守っていきたいと思います。

５月に入り、気候も穏やかになり過ごし易くなってきました。学校生活に慣れた子どもたちも元気に活動できる季節になります。草木が真っすぐに伸びていくように、子どもたちも自分らしさを発揮して生活ができるよう支援していきたいと思います。

今後とも、子どもたちの健やかな成長のために、お力添えをいただけますよう、よろしくお願いいたします。